

# 計画の内容・方向性等について

## 1 国の動向について

### ◇国のデジタル施策

高度情報通信ネットワーク社会形成基本法（IT基本法）の制定以降、環境の整備は進展したものの、データの利活用は十分ではなかった。

そこで、デジタル技術の高度化に対応するため「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」が策定され、令和3年（2021年）9月1日、デジタル庁が発足した。

目指すべきデジタル社会の実現に向けて、政府が迅速かつ重点的に実施すべき施策を明記したものととして、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が公表され、「デジタル原則」に基づき、必要となる施策等の見直しの検討・整理を進めることとされた。（デジタル社会の実現に向けた重点計画 抜粋）

H28	H29	H30	H31(R1)	R2	R3	R4
H28.12施行 <b>官民データ活用推進基本法</b> ・都道府県に計画の策定義務づけ ・データ流通環境の整備や行政手続のオンライン利用を原則化			R1.12施行 <b>デジタル手続法</b> ・国の行政機関等の情報システムの整備に関する計画		R3.9施行 <b>デジタル社会形成基本法</b> ・デジタル社会の形成に関し、基本理念及び施策の策定に係る基本方針	
H28.1公表 <b>第5期科学技術基本計画</b> ・Society5.0の実現	H29.5公表 <b>官民データ活用推進基本計画</b>			R2.12公表 <b>デジタルガバメント実行計画</b> ・デジタル手続法に基づく情報システム整備計画 R2.12公表 <b>自治体DX推進計画</b> ・自治体が重点的に取り組むべき事項・内容の具体化	R3.12公表 <b>デジタル社会の実現に向けた重点計画</b> ・誰もが、いつでも、どこでも、デジタル化の恩恵を享受できるように ・デジタル田園都市国家構想の実現	R3.12公表 <b>デジタル社会の実現に向けた重点計画(改定)</b>
	H29.5公表 <b>デジタル・ガバメント推進方針</b> ・国民・事業者の利便性向上に重点を置き、行政の在り方をデジタル前提で見直し			R2.12公表 <b>デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針</b> ・デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会 ・誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化		

\* 【資料2-1】 デジタル社会の実現に向けた重点計画（概要）

## 2 県の動向について

### ◇県の官民データ活用推進計画の策定状況

- ・「ひょうご・データ利活用プラン」を策定（推進期間）2019年度～2021年度  
：県民が創造的活動に最大限能力を発揮できるデジタル社会～スマート兵庫～を構築し、“産業のイノベーションの創出”、“多様で質の高い暮らし”を実現するため、民・産・学・官の各主体が、最先端のICTを基盤に、多種多様なデータの利活用に取り組む指針

- ・「スマート兵庫戦略」の策定（予定）（推進期間）2022年度～2024年度  
：ひょうごビジョン2050を実現するためのデジタル分野の実行プログラム

#### <重点方針>

- ①イノベーションの創出（健康・医療データ等の集積・利活用、ドローン活用支援）
- ②パフォーマンスの向上（AI・IoTの導入支援、遠隔授業の実施）
- ③デジタル社会を支える基盤の強化（情報格差の是正、公衆無線LAN）
- ④デジタル行政の推進（AI・RPA等の活用、システムのクラウド化）

#### <戦略の目的>

県全域でのデジタル実装を加速化し、県民誰もがデジタルの恩恵を享受し、自らのニーズに応じたサービスを選択できる「スマート兵庫」の実現

#### <基本姿勢>

- 1 多様な主体との連携
- 2 デジタル技術の積極的活用
- 3 誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化

\* 【資料2-2】 スマート兵庫戦略の概要

## 3 姫路市のデジタル化・DX推進の取組状況について

### ◇姫路市デジタル戦略本部の設置（令和3年5月）

デジタル化の重点取組分野や課題解決型の短期戦略（タスク）等についての方針を決定する市長をトップとする姫路市デジタル戦略本部を設置

### ◇「姫路ライフ・デジタル戦略」の策定（令和3年10月）

#### <位置づけ>

本市の最上位計画である姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン2030」に掲げるビジョン（構想）及びミッション（目指す都市像を実現するための行動計画）に基づき、デジタル化の加速を図るもの

#### <姫路市官民データ活用推進計画との関係>

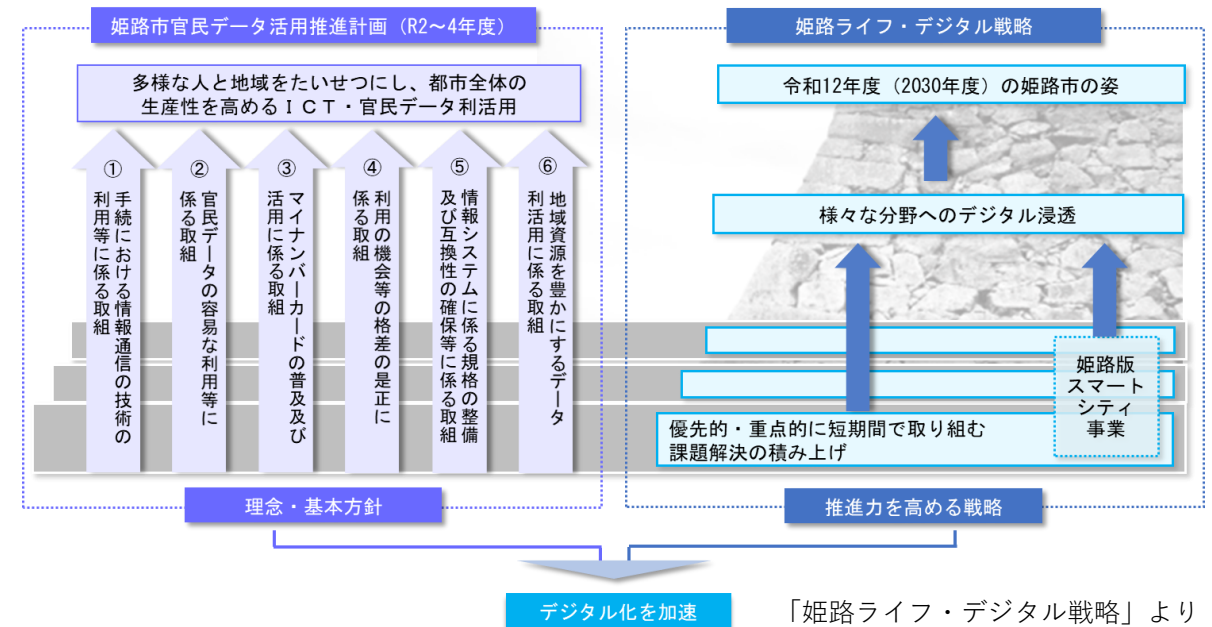
「姫路市官民データ活用推進計画」の取組方針に基づき、短期的・中期的な課題解決を積み上げるための戦略

#### <目指すべき将来像>

本格的な人口減少社会の到来や、新型コロナウイルス感染症の教訓を踏まえた新しい生活様式への対応など、現実空間が「疎」となっていく中、デジタル技術がまちづくりや生活の様々な場面に浸透し、多様な主体間の連携・交流が「密」になり、誰もがくらし(ライフ)に満足し、自分らしい生活を送っている。

#### <目的>

- ① 本市全体のデジタル化及びDXの戦略的な推進
- ② 令和12年度（2030年度）に向けた事業の企画・立案及び推進
- ③ デジタル化及びDXに向けた本市職員の意識改革の推進



\* 【資料2-3】 姫路ライフ・デジタル戦略

\* 【資料2-4】 姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン2030」(抜粋)

## 4 次期姫路市官民データ活用推進計画の方向性について

- ・国/県の計画等および姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン2030」との整合性を図る
- ・姫路版スマートシティ事業の実現に向けた取組など、本市のデジタル化及びDX推進の方向性や特徴を示す。
- ・市民にわかりやすい理念/趣旨の定義に努める

\* 【資料2-5】 姫路市官民データ活用推進計画と国重点計画との相関関係および次期計画の施策（案）について